

か こ げんざい みらい か えいえん こた  
過去、現在、未来を変える永遠の答え

使 3:1-12 ペテロとヨハネは、午後三時の祈りの時間に宮の上に行った。(1)

ペテロは単純に、足の不自由な人に小銭をあげたり、食べ物をあげたのではありません。ナザレのイエス・キリストの御名によって足の不自由な人を立ち上げさせました。過去、現在、未来の運命を変えたのです。このように、伝道のために三つのスケジュールを作りましょう。

一つ目、祈りのスケジュールを作りましょう。使徒1章3節で、イエス様は40日間、神の国のことを語られました。使徒3章1節には「午後三時の祈りの時間に」と言われています。そうしていれば、毎日、祈りの答えが来る24時になるでしょう。二つ目、伝道のスケジュールを作りましょう。イエス・キリストの御名が証しされれば、とても素晴らしい働きが起こります。イエス・キリストの御名によってだけ、すべての暗闇が離れて行きます。このことは、だれもできないことですが、イエス・キリストを信じて、その御名を持っている人は、だれでもできます。三つ目、いやしのスケジュールを作りましょう。使徒3章でペテロは、イエス・キリストの御名によって足の不自由な人を立て上げさせて、運命を変えました。パウロは、使徒13、16、19章で、だれも治すことができない病気を、ナザレのイエス・キリストの御名によっていやしました。

Remnant は、すべての人生を変えるスケジュールを作ってみましょう。スケジュールを作ること、それをするによって神様が働いてくださいます。



書いてある順番どおりに実践してみよう

- 今日の聖書箇所全体を読んで黙想しよう
- そして、タイトルを読んでみよう。神様は今日なぜこのタイトルをくださったのかな。考えて書いてみよう



今日、握った「今日のみことば」は何か。「今日のみことば」で、自分だけの祈りの課題を整理してみよう。



今日、私の現場での伝道について何か考えてみよう  
現場に対する小さな伝道の実践に挑戦しよう

\* 私の現場

\* 現場に対する小さな伝道の実践

神様、過去、現在、未来の運命を変えるスケジュールを作ることができますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## レムナントのもっとも急ぐこと

**IIコリ 10:4-5** 私たちの戦いの武器は肉のものではなく、神のために要塞を打ち倒す力があるものです。私たちは様々な議論と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち倒し、また、すべてのはかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。

Remnant のとき、どんなやぐらを建てるかが、とても重要です。ヒットラーは、まちったやぐらを建てたので、多くの人を殺しました。時代を生かす Remnant に、もっとも急ぐことは、生活の中に神様のやぐらを建てることです。神様のやぐらを建てれば、暗闇の勢力がぶるぶるふるえるようになります。

一つ目、朝に神様のやぐらを建てる祈りをしましょう。イエス様が教えてくださった祈りをするのです。神の国が私と私の現場、私の生活に臨むように祈りましょう。二つ目、昼には、霊的サミットの祈りをしましょう。昼に多くの人に会いますが、その中で神様が願われることを選ぶように祈りましょう。三つ目、夜には作品を作る祈りをしましょう。一日の間ずっと神様が私にくだされた答えを整理して、記録しましょう。すると、この記録は、他の人が神様を見ることが出来る作品になります。もっとも重要なのは、神様との疎通です。そうすれば、人ととの疎通ができて、すべてが生かされます。

みことばを握って、朝、夜、昼の祈りを一つずつ挑戦すれば良いのです。これは目に見えない知識です。それゆえ、ずっと祈ってみれば、目に見えない霊的な力が作られます。これ Remnant が受ける競争せずに勝つ祝福です。



書いてある順番どりに実践してみよう

1. 今日の私のスケジュールを書いてみよう
2. スケジュールを見て、神様に聞いてみたいことはあるかな。書いてみよう
3. 今日の聖書箇所をよく読もう
4. 神様は今日、私になにを語ろうとしておられるのかな。書いてみよう



黙想の文章を通して握った「今日のみことば」をもって 24 できる祈りの課題を整理しよう

\* 今日のみことば:

\* 今日 24 する祈りの課題



私の現場でどんなプラットフォームが必要かな  
今日の現場伝道のプラットフォームについて考えてみよう

\* 私の現場

\* その現場伝道のために必要なプラットフォームは何かな

神様、みことばを握って、朝、夜、昼に神様のやぐらを建てるができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

モーセが見た答えの永遠

申 6:4-9 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家で座っているときも道を歩くときも、寝るときも起きるときも、これを彼らに語りなさい。(7)

奴隷になっていたエジプトから解放されてカナンの地に送ってくださるといふ契約を確かに信じた人がいました。この答えをあらかじめ確認した人がモーセです。そして、それ以前にその契約を確認した人がヨケベデです。神様がヨケベデとモーセの人生に与えられた答えを確認してみましょう。

一つ目、ヨケベデは、イスラエルの民が奴隷になった理由を分かりました。また、神様の働きがいつ起こるのかを悟ったので、モーセを王宮に送る決断ができました。モーセを通して神様がなさると信じたのです。二つ目、ヨケベデが握ったその契約が、モーセに伝えられ始めました。そして、神様は不信仰になっていたイスラエル民族に、モーセを通して契約を成就されました。三つ目、モーセは10の奇跡、紅海の奇跡と三つの祭り、荒野40年間、幕屋で起こったことを次世代に伝えました。彼らは、神様がモーセを通して成し遂げられた働きを見た証人として育ったのです。

Remnant がヨケベデのように契約を握って祈れば、神様がなさる働きを見るようになります。それゆえ、Remnant は、神様がくださったことは何かと考えてみて、それを知ることができるように霊的な目を開いてくださいと祈る時間を待ちましょう！



書いてある順番どおりに実践してみよう

- 今日の聖書箇所全体を読んで黙想しよう
- 神様は今日、なぜこのタイトルをくださったのかな。書いてみよう

- 黙想した文章を読んで、今日私に与えられた「ひとつの単語」と「一つの文章」を整理しよう



黙想の文章を通して握った「今日のみことば」を「25」の答えとして受ける私だけの祈りの課題として整理しよう。



私の現場でどんな見張り台が必要かな  
今日の現場伝道の見張り台について考えてみよう

\* 私の現場

\* この現場伝道のために必要な見張り台は何か

神様、ヨケベデとモーセのように、契約を信じて、あらかじめ答えを味わう Remnant になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

いの じゆんじよ い み  
祈りの順序と意味

Remnant は、何をすとしても、祈りの中でしましよ。そのためには、まず Remnant 自身の祈りを点検することが必要です。

一つ目、感謝があるでしよか。まず、神様が私をほろびから救い出してくださった、救いに対する感謝です。すると、すべてのことに対する感謝が出てきて、苦しいことにも感謝するようになります。二つ目、賛美できる霊的状态でしよか。三つ目、答えに対する確信を持って祈りましよ。イエス様がイエス・キリストの御名によって何でも求めれば受けると言われました。信じて祈れば良いのです。四つ目、とりなしの祈りをましよ。祈るとき、時空を\*超越して、霊的な力が伝えられます。五つ目、私たちの祈りの中に\*罪のゆるしがあるでしよか。罪人である私たちが神様に受けたもっとも大きな恵みは、ゆるされたことです。ですから、私たちが他の人をゆるすことができます。六つ目、祈りができるようになれば、福音を伝えることができます。すると、未来に働きが起こります。七つ目、祈りはイエス様の御名で宣言することです。これを知っている必要があります。暗闇を打ちこわして御座の門を開ける鍵を与えてくださったのです。

祈りができるようになるしかない、この 7 つを点検してみてください。すると、答えは来るでしよ。

- \* 超越：どんな限界や一般的なことを飛び越えることをいうことばです。
- \* 罪のゆるし：犯した罪や、あやまちに対してゆるしを求めることを意味します。



神様が「私」を通して成就される「今日のみことば」は何か

- 今日の聖書箇所全体を黙想しよ
- 神様は今日なぜこのタイトルをくださったのかな。考えて書いてみよ
- 黙想した文章を読んで、神様がなぜ今日私にこのみことばをくださったのかを書いてみよ
- 神様が私にくださった今日のみことばを握ろう



黙想の文章を通して握った「今日のみことば」を「永遠」の答えを受ける私だけの祈りの課題で整理しよ



私の現場でどんなアンテナが必要かな  
今日の現場伝道のためのアンテナをを考えてみよ  
\* 私の現場

\* この現場伝道のために必要なアンテナは何か

生きておられる神様、祈りができる7つの点検をすることができ、すべてのことを祈りの中ですることができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

こた への  
答えられる祈り

マタ 6:1-15 あなたが祈るときは、家の奥の自分の部屋に入りなさい。そして戸を閉めて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見えおられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。(6)

Remnant は、答えられる祈りをしましょう。私が願うことを求めるましがった祈りではありません。急に答えを受けようとせずに、祈りが何なのかを、まず知りましょう。

一つ目、祈るとき、神様は聖霊を私たちに与えてくださいます。私たちの罪をゆるしてくださり、暗闇の勢力を縛ってください。すると、神様の働きが起こり、主の御使いを送って、神の国と神の国のことを成し遂げてくださいます。二つ目、神様は多くの方がおがんでいる、偶像崇拜の悪霊のような存在ではありません。すべての万物を統治する異なる御名です。私たちはその神様を「お父さん」と言える資格をもらいました。三つ目、何を祈るべきなのかを知りましょう。神の国が臨んで、神様のみこころがなされるように祈りましょう。そして、日用の糧を求めて、他の人をゆるすように祈るのです。試みにあわずに、サタンに勝つ権威を持って祈りましょう。これらすべてのことが、神様に栄光になるように祈れば良いのです。四つ目、祈りより前に、まず先に兄弟となかなかおりしなさいと言われました。そして、祈るとき、神の国と神の義を求めて、他の人のあやまちを見るのではなく、私のあやまちを先に見なさいと言われました。

私が願う祈りではなく、神様が与えてくださったことを味わう祈りを始めましょう。



書いてある順番どおりに実践してみよう

1. 一日を始めるのに、神様に質問したいことはあるかな。書いてみよう
2. 今日の聖書箇所全体とタイトルを読んで黙想しよう
3. 黙想した文章を読んで、今日の私の質問に神様がくださった答えを書いてみよう



今日、握った「今日のみことば」は何かな。「今日のみことば」で、自分だけの祈りの課題を整理してみよう。



今日、私の現場での伝道について何か考えてみよう  
現場に対する小さな伝道の実践に挑戦しよう

- \* 私の現場
- \* 現場に対する小さな伝道の実践

生きておられる神様、私が願うことを求める祈りではなく、答えられる祈りをする事ができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ただ いの ちから いの  
正しい祈りと力がある祈り

マタ 6:1-13 人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられません。(1)

答えられる祈りは、どのようにしたらよいのか、分からないではありませんか。それゆえ、正しい祈りと力がある祈りを分かるために、知っておくべきことがあります。

一つ目に、神様は私たちに神の子どもという特権をくださいました。私たちは、わざわざとのろいのゆえに、神様の前に行くことができません。しかし、神様の前に大胆に出て行くことができるように、イエス・キリストを私たちに与えてくださいました。そして、時に応じて必要な恵みを与えてくださり、キリストの御名で祈って答えを受けられるようにしてくださいました。二つ目、心にしっかりと刻んでおくべきことがあります。祈りは、家の奥の自分の部屋に入って、人の前でなく神様の前で祈りましょう。意味も分からないで、同じことばをただ繰り返す祈りはしてはいけません。三つ目、正しい祈りは、主の祈りを通して知ることができます。何でもないように見えますが、祈りの答えを受けることができる、すばらしい内容です。三つ目、祈りは神様が救いの次に神の子どもにくださった大きな約束です。霊的世界が動いて、イエス・キリストの権威が現れるようになります。祈りを通して、神様のみこころを発見して、聖霊が臨みます。五つ目、祈りは神様と疎通する見張り人になることです。

Remnant は、祈りの意味を知って、正しい祈りに挑戦しましょう。



書いてある順番どおりに実践してみよう

- 今日、私にある神様の計画は何かなのを少し質問してみよう
- 今日の聖書箇所全体を読んで、神様は今日なぜこのタイトルをくださったのかな。考えて書いてみよう

- 黙想した文章を読んで、今日、私にある神様の計画を書いてみよう



今日のみことばを握って一日を整理しよう

今日の一日の中で、問題、危機、葛藤はありましたか。それを通して神様がなされたことを見つけよう

今日の問題、危機、葛藤	今日のみことばで それを通して神様がなされたこと



私の現場でどんな三つの庭を準備しますか

現場の三つの庭を夢みて思い描いてみよう

\* 私の現場

\* 準備する三つの庭

生きておられる神様、祈りが何かを知って、正しい祈りに挑戦する Remnant になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン